

水道

1	沿	革	187
2	事業	概要	187
3	料	金	190
4	経営	状況	191
5	職員数及び	給与	191
6	施	設	192

1 沿 革

水道の創設 明治22年、市制の施行により上水道設置の要望が高まり、明治43年、水源地調査費を予算に計上、調査の結果八景水谷を水源地とし、立田山を配水池とする旨の結論を得た。しかしその後水利関係にからむ地元民の猛反対等で候補地も再三変更を余儀なくされ交渉は困難を極めたが、大正13年3月漸く地元民との諒解が成り、同年11月工費約228万円で竣工通水をみたのである。その後配水管の布設等施設拡充が続けられたが、第2次大戦により資材は不足し建設改良も思うに任せず、空襲による被害は施設の老朽と相まって事業運営に重大な支障を来し、加えて終戦後の復員や引揚者による人口増加は必然的に配水能力の不足を招き、時間給水制限等を行なわざるを得ない状態となった。

第1次拡張工事 これに対処するため水源地の確保を主とした拡張工事が行われたが、まず第1期工事として健軍に水源（健軍水源地）を求め工費約2,500千円で昭和25年8月に竣工し、一日の配水能力も37,000㎥と大幅な増加を示した。

昭和41年度における給水人口200,000人、一日最大配水量60,000㎥を目標とした第2期工事の主なものは次のとおりである。

- (1) 一本木水源地開設 工費6,770千円 27年11月竣工
- (2) 亀井水源地開設 〃 5,609千円 30年3月 〃
- (3) 立田山配水池増設 〃 2,772千円 31年11月 〃

第2次拡張工事 これは昭和46年度における給水人口345,000人、一日最大配水量102,000㎥を目標とし、総工費760,000千円の5カ年継続事業として施行したものであり、主な工事としては、

- (1) 徳王配水池開設 工費27,840千円 35年3月竣工
- (2) 健軍水源地ポンプ室及び井戸増設 〃 66,030 〃 36年3月 〃
- (3) 川尻水源地開設 〃 39,020 〃 36年9月 〃
- (4) 立田山配水池増設 〃 32,760 〃 } 38年3月 〃
- (5) 城山水源地開設 〃 26,700 〃 }
- (6) 八景水谷水系井戸増設 〃 40,630 〃 39年3月 〃
- (7) 城山第2水源地開設 〃 7,780 〃 40年11月 〃

などであり、北部方面の高台地区、又急激に発展した東部地区への配水を円滑ならしめた。又未給水地域として懸案の川尻、高橋地区もそれぞれ給水を開始し、市周辺地区へまで行きわたるに至った。

2 事業概要

(1) 給水普及状況

区分 年度	行政区域内				給水区域内				給水区域	
	人口戸数		普及率		人口戸数		普及率		人口	戸数
	人口	戸数	人口	戸数	人口	戸数	人口	戸数		
42	426,630	117,337	79.3%	73.5%	405,467	112,265	83.4%	76.8%	338,312	86,213
43	432,716	124,181	80.3	74.7	414,611	119,816	83.8	77.4	347,605	92,702
44	434,596	130,544	82.2	74.6	417,805	126,585	85.5	76.9	357,000	97,319

(2) 配水量

区分 年度	総配水量	最 大 配 水 量	最 小 配 水 量	1日平均 配水量	1人1日最大 配水量	1人1日平均 配水量	最大月の1日 平均配水量
42	35,150,229 ^{m³}	9/7 131,816 ^{m³}	1/1 71,211 ^{m³}	96,039 ^{m³}	396 ^ℓ	288 ^ℓ	117,937 ^{m³}
43	36,964,685	7/22 135,216	1/1 70,920	101,273	397	295	125,107
44	40,614,583	8/28 149,711	1/1 80,553	111,273	427	312	127,196

(3) 有収水量と無効水量

区分 年度	総 有 収 水 量	1日平均 有収水量	有収率	無 収 水 量	無収率	総 有 効 水 量	1日平均 有効水量	有効率	無 効 水 量	無効率
42	25,657,311 ^{m³}	70,102 ^{m³}	73.0%	26,890 ^{m³}	0.07%	25,684,201 ^{m³}	70,175 ^{m³}	73.1%	9,466,028 ^{m³}	26.9%
43	27,842,648	76,281	75.3	38,766	0.1	27,881,414	76,387	75.4	9,083,271	24.6
44	30,740,216	84,220	75.7	46,589	0.11	30,786,805	84,347	75.8	9,827,778	24.2

(4) 水道管

区分 年度	導水管 延長	送水管 延長	配水管 延長
42	1,943 ^m	10,844 ^m	664,630 ^m
43	2,665	13,837	708,553
44	2,665	13,837	755,350

(5) 用途別給水量及び収入状況

(昭和44年度)

区分 事項	給水量	比率	収 入	比率
家事営業用	25,512,813 ^{m³}	82.99%	820,375,480 ^円	83.05%
湯屋用	2,483,332	0.81	3,953,255	0.40
官公署	2,415,151	7.86	79,164,416	8.01
学 校	786,561	2.56	24,809,864	2.51
市関係	987,873	3.21	31,220,735	3.16
一時用	1,984,266	6.65	10,800,141	1.09
プ ール	3,853,227	12.5	123,122,088	12.5
共用栓	205,733	0.67	5,224,804	0.53
計	30,740,216	100	987,860,903	100

(6) 第3次拡張計画

本市は昭和39年にマスタープランを策定し産業基盤の整備、生活環境の整備及び産業の振興を柱に人口60万都市の未来像に向って、その都市づくりがなされている。

中でも生活環境の基盤となる水道事業では、第3次拡張工事が計画され、昭和55年を目標年次として実施中である。

この結果、本計画開始時における配水能力129,700^{m³}より81,440^{m³}上回る211,140^{m³}の配水が可能となる。

認可年月日 昭和41年2月15日
 期 間 昭和41年4月1日～昭和51年3月31日
 目標年次 昭和55年

基本計画

計画給水人口 425,700人
 1日最大配水量 211,140 m^3
 1人1日最大配水量 496 ℓ
 1人1日平均配水量 396.5 ℓ

事業内容

(昭45.3.31現在)

区分 給水区	工 事 内 容	工 費 (市 起 費 債)	進捗率
北 東 部	水源地用地21,362 m^2 を買収し、水源地5カ所を設け21,300 m^3 /日を取水する。又送水ポンプ場を築造し、岩倉山に配水池3,550 m^3 2池を設け、配水管 ϕ 600～ ϕ 75を35,172m布設する。 これに伴う用地買収71,651 m^2	千円 779,824	% 40
東 部	水源地8カ所を設け6,200 m^3 /日を取水し、配水ポンプ場1,165 m^2 1棟を築造するが、健軍に操作室を設け遠隔制御でポンプ運転を行う。配水管 ϕ 800～ ϕ 75を90,626m布設する。これに伴う用地買収17,856 m^2	1,595,276	30
中 部	立田山配水池より配水本管 ϕ 400を1,550m布設し、都心部の増補を行うと共に ϕ 150を1,150m布設する。	27,605	70
南 部	水源地1カ所を増設し、6,080 m^3 /日を取水し、配水池880 m^3 1池、配水ポンプ室を増築する。配水管 ϕ 200～ ϕ 75を19,038m布設する。 これに伴う用地買収1,375 m^2	163,331	50
北 西 部	水源地2カ所を設け6,000 m^3 /日を取水するが、ポンプは遠隔制御場より運転する。 徳王配水池に4,350 m^3 の配水池を増設し配水管 ϕ 350～ ϕ 75を23,192m布設する。 これに伴う用地買収2,615 m^2	346,691	10
西 部	水源地1カ所を増設し2,060 m^3 /日を取水し、送水ポンプ室1棟を築造する。配水池1,870 m^3 1池を増設し、配水管 ϕ 300～ ϕ 75を17,911m布設する。 これに伴う用地買収1,654 m^2	212,015	10
そ の 他	附帯事業費及び事務費	179,015	—
総 事 業 費		3,303,757	
		内起債額 (2,950,000)	

(7) 簡易水道

(昭45.3.31現在)

区分 地区別	通水開始年月日	水源の種類	配水設備		給水方法	給水戸数	給水人口
			配水池	配水幹線			
谷尾崎	昭31.3.22	谷間湧水	容量30m ³ 1池 ろ過池 1池	口径75mm	自然流下式	30	120
平	昭31.8.18	"	容量30m ³ 1池 ろ過池 1池	"	"	40	200
緑ヶ丘	昭40.1.2	深井戸	能力45m ³ /日 最大取水量m ³ /日	口径50mm	加圧ポンプ送水	52	200

(8) 収納業務

(昭和44年度)

区分 収納別	人員	受高枚数 収納枚数	受高金額 収納金額	1人平均 受高枚数	収納率	委託比率
職員収納	16	311,235枚	175,878円	1,621枚	98.2%	29.6%
		310,317枚	174,861円			
委託収納	36	740,362枚	542,737円	1,751枚	98.1%	70.4%
		737,789枚	537,871円			

昭和42年4月1日委託業務開始

委託先 熊本市練兵町10の1 株式会社 肥後集金センター

委託件数 21,684件

委託手数料 徴収1件につき25円(昭45.7.1現在)

3 料金

(昭和38年10月5日改訂)
(昭和38年11月1日実施)

種別	基本料金		超過料金
	水量	料金	
一般用	8立方メートルまで	240円	1立方メートルにつき 32円
浴場営業用	150 "	2,000	" 15
一時用	1 "	55	
共用栓	6 "	120	" 22
簡易水道	谷尾崎地区	総月額	7,200
	平 "	"	11,696
	緑ヶ丘 "	一般用料金を適用	

4 経営状況

(1) 収益的収支の推移

(単位千円)

事項 \ 年度	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
収 益	312,746	339,006	372,500	455,590	653,458	670,732	759,895	865,595	944,882	1,038,546
給水収益	298,846	323,070	352,008	433,665	627,254	643,722	724,613	818,992	896,320	987,861
支 出	278,618	324,446	386,040	431,656	495,734	545,002	583,945	695,924	795,142	903,656
人件費	131,322	151,057	184,896	213,409	237,040	280,096	305,218	366,141	413,391	467,938
損 益	34,127	14,560	△13,540	23,935	157,724	125,729	175,950	169,671	149,740	134,890
剰余金計	23,072	21,930	△13,397	25,161	110,350	97,647	120,642	174,454	215,403	258,309

(2) 供給単価及び給水原価

(単位 円/㎡)

事項 \ 年度	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
供給単価	22.01	21.71	22.12	24.86	32.12	32.12	32.29	31.92	32.16	32.14
給水原価	20.13	21.35	23.74	24.18	24.72	26.51	25.30	26.45	27.97	28.82
損 益	1.88	0.36	△1.62	0.68	7.40	5.61	6.99	5.47	4.19	3.32

5 職員数及び給与

(1) 職種別職員数

(昭45.3.31現在)

性別 \ 職種別	特別職	事務職	技術職	検針集金	その他	計
男	1	86	47	56	138	328
女	—	20	1	0	3	24
計	1	106	48	56	141	352

(2) 職種別1人月平均給与額

(昭45.3.31現在)

事項 \ 職種別	特別職	事務職	技術職	検針集金	その他	計
基本給(円)	146,250	82,433	58,850	51,653	66,819	68,196
特別勤務手当(円)	—	6,038	6,342	8,041	6,267	6,494
超過勤務手当(円)	—	4,061	9,947	3,687	11,000	7,607
その他の手当(円)	43,387	30,465	31,493	21,515	28,150	28,264
合 計(円)	189,637	122,997	106,632	84,896	112,236	110,521
年 令(才)	62	44	43	25	44	41
勤続年数(年)	3	16	16	6	14	14

6 施設

(1) 水道施設

(昭45.3.31現在)

名 称	竣工年次	取水最大能力	施 設 内 容	設 置 場 所	
水 源 地	八景水谷水源地 第1井	大14.3	15,000 $\frac{m^3}{日}$	浅井戸1カ所 深井戸1カ所 ポンプ3台	清水町八景水谷
	“ 第2井	大14.3	12,000	“ 1 “ “ 3 “	“
	亀井水源地	30.3	9,000	“ 1 “ 深井戸2カ所 “ 3 “	清水町亀井
	一本木水源地	27.1.1	16,000	“ 1 “ “ 1 “ “ 3 “	飽託郡北部町
	健軍水源地	23.3	70,000	“ 12 “ “ 4 “	水源町
	川尻第1水源地	36.3	2,200	“ 1 “ “ 4 “	南高江町柿の木通り
	“ 第2 “	43.3	3,000	“ 1 “ “ 1 “	元三町築切
	城山第1水源地	36.1.2	2,500	“ 1 “ “ 1 “	城山大塘町小伝木
	“ 第2 “	40.1.1	3,000	“ 1 “ “ 1 “	城山上代町丸反田
	緑ヶ丘配水施設	40.1.2	45	“ 1 “ “ 1 “	竜田町陣内
配 水 池	麻生田水源地	44.1	8,300	“ 2 “ “ 3 “	清水町新地
	城山 配水池	38.3	630 $\frac{m^3}{日}$	鉄筋コンクリート造り 1池	城山上代町城山
	立田山配水池	38.3	22,500	“ 4 “	黒髪町下立田
徳王 配水池	35.3	3,000	“ 1 “	飽託郡北部町	
ポ ン プ 所	立田山ポンプ所	40.3	1,500 $\frac{m^3}{H}$	ポンプ 2台	黒髪町立田邸
	花岡山ポンプ所	35.8	45	“ 3 “	横手町北岡自然公園
	本妙寺ポンプ所	大14.3	28.2	“ 2 “	花園町本妙寺境内
	島崎ポンプ所	38.6	15	“ 3 “	島崎町
	大窪ポンプ所	36.1.0	9.6	“ 2 “	清水町大窪
	長迫ポンプ所	39.9	5.4	“ 2 “	池田町宮の原
	岩倉山ポンプ所	40.3	11	“ 2 “	清水町兎谷
	高平ポンプ所	40.8	2.3	“ 1 “	清水町高平
	万日山ポンプ所	41.9	8.4	“ 1 “	春日町万日
	城内ポンプ所	41.1	12	“ 1 “	熊本城内
上松尾ポンプ所	43.6	12.6	“ 1 “	松尾町上松尾	

(2) 局 舎

所在地 熊本市水前寺6丁目2番45号
 敷地面積 9,344 m^2
 建物面積 延 3,480 m^2
 着 工 昭和37年12月28日
 竣 工 昭和38年12月20日
 構 造 鉄筋コンクリート、地下1階、地上3階、塔屋1階
 施 行 龍建設株式会社
 総 工 費 190,621,335円

くまもと

市政概要

1970

昭和45年10月発行

編集 熊本市議会事務局議事課

印刷 コロニヤ印刷

発行所 熊本市議会事務局



保存用

c